支援金比較表

支援金情報大まとめ！ - 博士後期課程で受給できる支援金 - *1

	① 新大博士奨学金	② 学振DC1	③ 学振DC2	④ JSTフェローシップ	⑤ JST次世代 (SPRING)
正式名称	新潟大学大学院博士課程 奨学金制度*2	日本学術振興会 特別研究員 DC1*3	日本学術振興会 特別研究員 DC2*3	科学技術イノベーション創出 に向けた 大学フェローシップ創設事業*4	次世代研究者挑戦的 研究プログラム*5 未来のライフ・イノベーションを 創出するフロントランナー 育成プロジェクト*6
機関	新潟大学	日本学術振興会		科学技術振興機構	
生活費 (年額)	30万円 (一時金)	240万円		180万円	
研究費 (年額)	-	150万円以内		20万円以内	40万円以内
期間	一時金	3年	2年	最大 3年	博士後期課程 最大 3年 医歯学系 (4年制) 最大 4年
対象者	各研究科, 進学者選考の 第一次募集に出願し，進学した者 (第二次・第三次募集出願者は申請不可)	博士後期課程1年目 など	博士後期課程2年目以上 など	新規採用は、博士後期課程 1年 医歯学系（4年制）2年	新規採用は、博士後期課程 1年 医歯学系（4年制）1年
対象分野	全分野			1. 未来健康科学分野 (ボトムアップ型) 2. 革新的情報・AI分野 (分野指定型)	全分野
新潟大学 採用予定数/年	20人 (自然研実績　令和4年度 10人、 令和5年度 14人)	若干名（令和4年度 1人） - 全国 707 人 -	若干名（令和4年度 1人） - 全国 1094 人 -	1. 未来健康科学分野 7 人 2. 革新的情報・AI分野 7 人 14 人（全学年で42人） - 全国 1000 人 -	15人（全学年で50人） - 全国2000人 -
継続性	毎年	毎年		令和6年度以降は、両事業を一本化した新SPRING事業へ移行することを文部科学省において検討中	
申請 締め切り時期*6	12月頃	6月頃		冬～春（令和6年度予定）	
所得の扱い	雑所得	給与所得		雑所得	
副収入の制限	DC1/2 支援不可	常勤職・常勤職に準ずる職 (月80時間目安) 支援不可		DC1/2, SPRING, 年収240万円以上の者，国費留学生*7 支援不可	DC1/2, フェローシップ, 年収240万円以上の者, 国費留学生等*7 支援不可
備考	内部進学者のみ 収入制限あり	奨励金の3割を研究遂行費として 非課税にする制度あり		ジェネリックスキル獲得のためのセミナー等 コンテンツの提供あり！ (PhDリクルート室*8)	

*1 その他、新潟大学生が受けられる奨学金制度の情報はこちら（https://www.niigata-u.ac.jp/campus/economic/scholarship/）
*2 新潟大学 新潟大学博士課程奨学金制度（https://www.niigata-u.ac.jp/campus/economic/scholarship/graduatestudent/）
*3 日本学術振興会 特別研究員 申請手続き（https://www.jsps.go.jp/j-pd/pd_sin.html）
*4 PhDリクルート室 フェローシップ支援（https://www.phd.niigata-u.ac.jp/student/fellowship/fellowshippj/）
*5 PhDリクルート室 未来のライフ・イノベーションを創出するフロントランナー育成プロジェクト（https://www.phd.niigata-u.ac.jp/student/fellowship/zisedaipj/）
*6 いずれも入学・進学する前年に申請が必要。
*7 年収240万円以上の収入がある社会人学生・留学生は支援対象外。年収240万円以下の場合は受給可能。
*8 PhDリクルート室HPはこちら（https://www.phd.niigata-u.ac.jp/）